

北海道大学シラバス					
■ ■ 科目名					
母性健康障害論					
■ ■ 講義題目					
■ ■ 責任教員 (所属)					
蝦名 康彦 (大学院保健科学研究院)					
■ ■ 担当教員 (所属)					
蝦名 康彦 (大学院保健科学研究院)					
■ ■ 科目種別	保健学科			■ ■ 他学部履修等の可否	不可
■ ■ 開講年度	2022	■ ■ 期間	2 学期 (秋ターム)	■ ■ 時間割番号	022144
■ ■ 授業形態	講義	■ ■ 単位数	1	■ ■ 対象年次	2~2
■ ■ 対象学科・クラス	保健学科 [看護学専攻]			■ ■ 補足事項	H23~入学者用
■ ■ ナンバリングコード	HLT_N 2210				
■ ■ 大分類コード	■ ■ 大分類名称				
HLT_N	医学部保健学科 (看護学専攻)				
■ ■ レベルコード	■ ■ レベル				
2	学部専門科目 (基礎的な内容の科目)、全学教育科目 (語学上級、高年次対象科目)				
■ ■ 中分類コード	■ ■ 中分類名称				
2	疾病の成り立ちと回復の促進				
■ ■ 小分類コード	■ ■ 小分類名称				
1	講義				
■ ■ 言語					
日本語で行う授業					
■ ■ 実務経験のある教員等による授業科目					
該当する					

■ ■ キーワード

リプロダクティブヘルス、生殖、ライフステージ、思春期、更年期、不妊症、婦人科がん、HPV、異常妊娠、異常分娩、倫理的課題

■ ■ 授業の目標

1. 女性に発生する主な疾患の病態とその治療法を理解する。
2. 異常妊娠に関する病態とその治療法を理解する。
3. 生理・病態に対する総論的理解を深め、各種疾病・各臓器特有の疾病に関する特異性を理解する。
4. 保健医療面への応用の観点から病態を理解し、処置・対応方法を理解する。

到達目標

1. 生殖の生理、正常な妊娠経過について概説できる。
2. 代表的な思春期・性成熟期女性の健康障害の病態生理について概説し、治療法の概要を説明できる。
3. 代表的な更年期・老年期女性の健康障害の病態生理について概説し、治療法の概要を説明できる。
4. 代表的な妊娠期の異常の病態生理について概説し、治療法の概要を説明できる。
5. 代表的な分娩期の異常の病態生理について概説し、治療法の概要を説明できる。
6. 代表的な産褥期の異常の病態生理について概説し、治療法の概要を説明できる。
7. リプロダクティブヘルスに関する倫理について概説できる。

授業計画

1. 生殖の生理、正常な妊娠経過（発生・性分化のメカニズム、第二性徴・思春期、性成熟期の性周期、受精・着床・妊娠の成立、妊娠経過と胎児の発育、母体の生理的变化）
2. 思春期・性成熟期女性の健康障害（月経異常[月経困難症、月経前症候群]、婦人科良性疾患[子宮筋腫、内膜症など]の病態と治療、避妊とピル
3. 更年期・老年期女性の健康障害（婦人科悪性疾患[子宮がんなど]の病態と治療、HPV感染とワクチン）、更年期障害、骨粗鬆症、骨盤臓器脱・尿失禁
4. 妊娠期の異常（不妊・不育症、異所性妊娠、流産/切迫流産、早産/切迫早産、頸管無力症、過期妊娠、妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群、胎児発育不全、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、合併症妊娠、母子感染）
5. 分娩期の異常（胎児機能不全[胎児心拍モニタリングを含む]、胎位異常、前期破水、陣痛異常、急速遂娩、帝王切開、分娩時異常出血、分娩による損傷）
6. 産褥期の異常（帝王切開術後、血栓塞栓症、子宮復古不全、産褥熱、産後精神障害）
7. リプロダクティブヘルスに関する倫理（生殖補助医療と倫理的課題、出生前診断と倫理的課題）

準備学習(予習・復習)等の内容と分量

講義の前線で予習・復習にそれぞれ1時間程度必要。教科書の該当部位を事前に予習してください。授業で渡すハンドアウトを中心に復習してください。

成績評価の基準と方法

1. 2/3以上の出席で評価対象者とします。
2. レポート、定期試験点数で評価します。

有する実務経験と授業への活用

大学病院および総合周産期母子医療センターで産婦人科医師として勤務してきた教員が、専門分野の実務経験と最新のエビデンスに基づき授業を行う。

他学部履修の条件

テキスト・教科書

[母性看護学I 概論 第2版 / 有森直子 : 医歯薬出版株式会社, 2020, ISBN:9784263237366](#)

[母性看護学II 周産期各論 第2版 / 有森直子 : 医歯薬出版株式会社, 2020, ISBN:9784263237373](#)

授業ごとにハンドアウトをわたします。事前に教科書の該当部位を示します。

講義指定図書

参照ホームページ

北大看護学 <http://hokudaikango.org/>

■ ■ 研究室のホームページ

<https://ebinalab.org/>

■ ■ 備考

2020年および2021年は、全てオンライン授業であり、試験のみ対面で行いました。2022年の授業方法は未定です。

■ ■ 更新日時

2022/02/05 09:50:14

■ ■